

藤間秋男の 100年企業創りレポート

●今月の経営テーマ “よりよい人間関係を築こう!”

よりよい人間関係を築くことで次のようなメリットがあります。

- ①毎日が楽しくなります
- ②視野が広がります
- ③自分を高めることができます
- ④仕事のミスやムダが減少します
- ⑤社内に活気にあふれます

株式会社コスモ教育出版『理念と経営』カレンダーより



(1) 経営理念について最近感じている事

(A) 理念とは「存在意義」と「判断基準」

①存在意義 - わが社は何のために存在するのか、
一言で言い表したモノ

②判断基準 - 現場で決断事が起きた時判断の基準に
なるモノ

TOMAグループは
①社員・家族、お客様、地球を「明るく、豊しく、元気に
前向きにして世の中の事を創り」で存在している。

そのために本物の一流専門家の集団になり「7=スト」で
「コニカル」にする。(存在意義)

② ① 明るく、豊しく、元気に、前向き } 判断基準
② 本物の一流専門家集団
③ 社員・家族、お客様の事を創り
④ 地球に貢献する

(B) 唱和をする。

TOMAでは、副理事長会議(理事長、会長、副理事長)、理事会
(部長以上)、朝礼などがあります。副理事長会議、

理事会の順に、各人の声が出て、合致します。
それは理念の唱和を通じて、社員、家族、地球の事を創り
したい、思いのすかいだと思ひます。

社員の中には、唱和をしている姿もいます。傍観者であり
理念の重要性がわかって、皆で事を、つかもとの、
ない人です。もし自分が社長だったら、唱和しませんでしたか。

(C) 先日ある異業種交流会で「経営理念」について、
各グループのプレゼンテーションがありました。
経営理念は「言葉の空間」「洗脳」「食文化」「絶対的」「真理」
などの議論がありました。TOMAグループは
松下幸之助の「絶対的」を要因「経営理念の確立と浸透」
で50%は成功したようなものを信じ、確立と浸透
した。社員を信じて任せる経営として15年で
売上3倍以上になりました。経営理念「要諦」の企業や
社長にTOMAグループは「必死性」をもっともっと指導し
ていきたいと思ひます。

(最近 運のあふる事を人は「明るく、豊しく、元気に、前向き、存在」と思ひ)

(2) グズは年間600万の損! 「アレジテート」 2016年8月15日号

「よくやれと言われたい、じっくり取り組む、この家は中島聡、
ないか疑問に思ふ人、ことごとく、すく、やる人、グズは
500人のマニカト調査から、予想外の結果が出る。

- ① すく、やる人の約半数が、残業せぬ。
 - ② すく、やる人の4割以上が、6時前に起きている。
 - ③ すく、やる人のほぼが、体面をしっかりと体面。
 - ④ すく、やる人のほぼが、家族の優先順位が高い。
 - ⑤ すく、やる人の8割以上が、事を感している。
 - ⑥ すく、やる人の方が、不満が少ない。
 - ⑦ すく、やる人の方が、楽観的。
 - ⑧ グズは人の6割以上が「やる気」が出る。
- 日本電産の永守会長が「すく、やる、必死性、出来るまでやる」を
実践していくとすく、いい会社になりますね。
(グズはやる、すく、やる人に、変身してみませんか。)

(3) 西野流「聴く」系結果 (7-11ドカッポ)

「西野さん、おはよう」という人、意見を言われる(日本経済新聞6月30日)
こと、(本田圭佑)「どう戦うかのミーティングでも選手に意見を
求めさせ、自分もまた聞く側に回る。そのうえで最後は
監督が決める(主将の長谷部)西野流の意見の伝達しか
ない、主張の強い本田、実績を誇る香川、アララセモ

